

User Report

ユーザーレポート

— 0の証明 —

■ 個人

74 歳父の断酒を支える大きな力に。 アルコールインターロックが安全弁。

アルコール・インターロック装置を個人のクルマに装着されたご家族にお話を伺いました。取材にご協力いただいたのは、中国地方在住の C さん（娘）と 74 歳のお父様です。同じように、家族や身近な人の飲酒問題に悩みを持つ方の参考になればと、導入に至るまでの経緯を詳しく語っていただきました。

ご利用機器

カメラ付き
アルコールインターロック装置

ALC-ZERO II



母の他界、喪失から始まった危機

父（74 歳）は元々お酒が好きで、毎日飲酒をしていました。けれども母が飲酒量を管理していたので健康でいられたのだと思います。夫婦仲が良く、私から見ても羨ましいほどでした。その最大の理解者であった母を癌で亡くし、1人で生活するようになってから父の飲酒量が急激に増加しました。喪失感から抗うつ状態であったことも関係しているかもしれませんが、自宅を訪ねて父と話をすると、息から強いミント系の口臭消しの匂いが漂ってきます。お酒を飲んだことを悟られないようにしているのです。さらに、父の不在時に自宅を確認すると、あらゆる場所にお酒が隠されていることに気が付きました。しかし、父に飲酒量について尋ねても「たまに飲むくらい」と繰り返すばかりでした。



※写真はイメージです

危機から始まった回復への道のり

アルコールインターロックを導入するきっかけとなったのは、このような危うい生活の中で起きた「大事件」によります。ある日、路上に放置された車の中で、泥酔している父を発見したのです。父を発見した時、深い悲しみと同時に、このままではいけない。私が母の代わりに支えなければ。と強い決意を抱きました。この出来事は、つらい記憶ではありますが、父がアルコール依存症の専門治療を受け、回復への一歩を踏み出すための「転機」となりました。

※文章、写真の無断転載や抜粋、加工は固くお断りいたします。

専門治療とサポート体制の構築

現在、父は精神科でのアルコール依存症治療を継続しながら、週 4 日のデイサービス利用と訪問看護の支援を受けています。徐々にですが、飲酒の誘惑から距離を置くことができるようになり、穏やかな日常が戻りつつあります。



※写真はイメージです

信頼のバロメーター 「アルコールインターロック」

今年 4 月、父の車にアルコールインターロックが装着されました。インターロックは、両手に収まるほどの小さな機器ですが、アルコールを検知するとエンジンがかからない「強力な飲酒運転防止装置」です。父は、車を取り上げられることをせず、回復を信じる私たちに感謝していました。装置の取り付けを今か今かと待ち遠しがっていたほどです。

東海電子のアルコールインターロックは、測定結果を自動保存し、後で確認することができます。これにより、利用者の飲酒パターンや飲酒運転のリスクが高い曜日や時間帯が可視化され、治療やサポートに繋げることが可能となります。父のログデータは、導入以来一貫して「飲酒検知ゼロ」の記録が残っています。父の断酒という努力が目に見える形で証明されたデータを見て、胸に熱いものがこみ上げてきました。高齢の父が、生活を改めるには相当の努力が必要だからです。

アルコールインターロックは、父の飲酒運転を制御するだけでなく、私たちが父を信頼し、安心して見守るための『相互の安全弁』として機能しています。さらにインターロックは「誰かに見守られている」という優しさを伝えるメッセージともなり、断酒という決意を支える大きな力となっています。

User Report

ユーザーレポート

— 0の証明 —

■ 個人

「回復の輪」の重要性

父の回復は、家族の協力とアルコールインターロック、そして医療・福祉サービスの連携という「回復の輪」が不可欠です。私は、父の車の鍵管理や通院の付き添いを欠かさず行い、精神科のデイケアや訪問看護といった専門的なサポートも積極的に取り入れています。さらに私の夫と子供の理解と協力を得ていることも大きいです。夫は父のそばにいてあげてほしいと言って、インターロックが装着されるまで私を父の家に住まわせてくれました。子供たちも『おじいちゃんと一緒に住む!』と喜んで、設置日まで父の家で過ごすことができました。このような多面的なサポート体制が、回復の基盤となっています。



※写真はイメージです

新たな人生への一步

回復の兆しを見せる父は、近隣での畑作業や買い物に出かけられるようになっており、趣味であった運転や旅行への意欲を取り戻しつつあります。最近では「いつか一人で旅行に行きたい!」と笑顔も出るようになり、明るい未来を予感しています。「もう一度、人生を楽しみたい」父の前向きな気持ちを後押ししているのがアルコールインターロックだと思います。

技術が紡ぐ希望ある未来

Cさんご家族の事例は、アルコールインターロックが単なる規制装置ではなく、人の再出発と家族の絆を支える存在となり得ることを示しています。この技術は、飲酒運転の防止だけでなく、アルコール依存症からの回復や家族関係の再構築にも貢献しています。高齢化が進む現代社会において、Cさんのお父様のような事例は決して珍しくありません。アルコールインターロックは、飲酒問題に悩む多くの家族に光をもたらす可能性を秘めています。私たち東海電子は、アルコールインターロックの普及を通じて、誰もが前向きに生きられる社会の実現を目指してまいります。

取材ご協力

家族を守る方法の手段として、
アルコール・インターロックを導入された
Cさんご一家



※文章、写真の無断転載や抜粋、加工は固くお断りいたします。

アルコール・インターロック
社会実装と個人装着を推進する

特設サイト

アルコール・インターロック.com

～飲酒運転加害者をゼロに～

東海電子WEBサイト

【アルコール・インターロック.com】

<https://alcohol-interlock.com/>



アルコール・インターロック

ALC-ZERO II

導入事例



導入事例動画

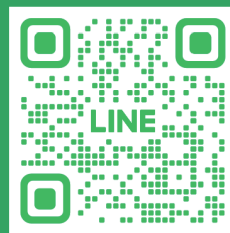
【あるご家族のアルコールインターロック装着ものがたり】

<https://youtu.be/CcXm5jBgeTQ>

LINE 公式アカウント

大切な人の飲酒運転で 悩まれていたら…

@700xyfip



いつでも LINE で ご相談ください!